

当財団では、若者の今の関心事や価値観・クルマに対する意識を探り、今後の財団活動に役立てることを目的に、「クルマに関する高校生意識調査」を実施しています。

2013年より隔年で実施し、2021年に5回目を迎えました。

約20の設問を通じ、現在の関心事やクルマに対する意識等の変化を時系列でみています。

今回の調査結果に関するトピックスを以下にてご紹介します。

#### (1) 現在の関心事

- ・「クルマ」に関心があるとの回答は8.7%で、前回調査より1.4ポイント向上しました。トップ3の「SNS (55.0%)」、「音楽 (52.3%)」、「マンガ・漫画 (46.3%)」とは大きな差がありますが、前回まで続いた低下傾向に歯止めがかかった結果となりました。

#### (2) 普通免許の取得意向／クルマの所有意向

- ・普通免許の取得意向は83.3%と前回から1.1ポイント低下し、クルマの所有意向は82.0%で同1.6ポイント向上しました。

上述のクルマに対する関心度の割には、両項目で80%以上と高レベルにあります。

男女別にみると男性が両項目で前回より低下した一方で、女性は両項目共に向上するという対照的な結果となりました。

<普通免許の取得意向>

男性：82.5%（前回差：▲14.0pp）、女性：84.0%（同：+5.0pp）

<クルマの所有意向>

男性：82.0%（前回差：▲6.5pp）、女性：82.0%（同：+9.6pp）

#### (3) クルマに対する意識・意向

- ・クルマに対するネガティブな意識が低下しました。以下の設問すべてで、否定評価の回答※が前回より増加しました。

「クルマは移動する道具に過ぎない」

「必要なら借りればよいので所有する必要はない」

「渋滞や大気汚染の原因となるので減らすべき」

「『若者のクルマ離れ』とは自分のことだ」

「クルマに必要性を感じない」

※“そう思わない”“どちらかといえばそう思わない”の合計

#### (4) 電気自動車（バッテリーEV）の購入意向

- ・当調査より追加した設問「将来クルマを購入する際、電気自動車を選択しますか」については、53.0%が購入意向を示しました。

今回の調査では「コロナ禍」、「カーボンニュートラル推進」という社会環境や生活での変化が、クルマの価値・必要性の認識、電気自動車の購入意向度など広範囲で回答に影響を及ぼしたことが推測されます。

昨今の環境はクルマへの耳目を集める好機ともいえることから、当財団では諸活動を通じクルマへの関心・理解の向上に一層注力してまいります。

尚、当調査結果の報告書をご要望される方は、当財団までご連絡願います。

あわせて、本件に関するご感想やご意見もお寄せください。

いずれも本メールに対する返信で結構です。

▼ツイッター"を始めました。

<https://twitter.com/jidousyakyokuiku>

▼本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、以下よりお願いします。

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/uf.php?id=149239601>